

【安全教育的目標】

毎日の生活での安全

- 安全について理解し、行動できる
- 自分のまわりの人の命を大切に
- 安全な生活を送れる基礎をつくる

安全安心な社会づくりへの参加

安全への心 がまえ

行動する力

【小学校で身につけること】

- ①安全に行動することの大切さがわかる
- ②安全のためのきまり・やくそくを守る
- ③危険の原因や事故の防止について理解する
- ④身の回りの危険に気づく
- ⑤危険について、先生やお家の人に知らせる

- ⑥助けてくれる大人の言うことをきく
- ⑦安全な行動をとることができる
- ⑧安全について周囲への気配りができる
- ⑨簡単な応急手当てができる

課題

対応・準備と心得

【生活安全】あぶない目にあわないためには？

○「声かけ」事象の発生状況

- 「いつもの道だから……」と……油断から発生
- 一人にいるときに発生することが多い
- 「声かけ」をうける時間は……
 - ① 午後4時台
 - ② 午後3時台
 - ③ 午後5時台

≪午後の発生が多い≫

- 被害を受ける半数は小学生

平成24年	被害全体	2,714人
	うち小学生	1,435人

【通学における対策】

○安全に登下校するためには……

≪危険な場所はどこか知っておく≫

- ・方々のときに「助けてくれるお家」などを調べておく。
- ・「子ども110番の家」やお店、公共の施設など
- ・学校からの帰り道で、人の通りが少ない通りや明りのない道はなるべく通らない。
- ・一人で帰らない。友だちと一緒に帰るようにする。

○不審な人に声をかけられたら……

≪“逃げる”“知らせる”≫

- ・はっきり断り、その場所から逃げる。
- ・大きな声を出して簡りに自分の危険を知らせる。
- ・警察や学校へ被害を知らせる。(大人に話す)

≪逃げるときには……≫

- ・歩いていて、自転車に乗った人から声をかけられた時には……相手の人に近づかない。
- ・自動車を運転している人から声をかけられた時には……車のドアより前に立つ。
- ・にげるときは、車のすすむ方向とは逆に。

○地域安全マップの作成と活用

- ・学校周りの地形や建物の特長を調べて活用する。
- ・地域安全マップを作り、危険が発生しそうな場所を確認する。
- ・逃げ込める場所や子ども110番の家など、安全な場所を確認する。

○危ない目にあわないための「あいことば」

「いか」… 知らない人についていかない
 「の」…… 知らない人の車にのらない
 「お」…… たすけて！とおおきな声をだす
 「す」…… 連れて行かれそうときはすぐにげる
 「し」…… 近くの大人に何があったか知らせる

【交通安全】交通事故に気をつけよう！

○交通事故は……

- ・とび出しによる交通事故が多い
- ・一時停止をしない ・左右の安全がたりない
- ・下校している時や家に帰ってからの事故が多い
- ・歩きや自転車でのとび出し
- ・あそびに行くときや帰る時の事故
- ・交通ルールを守らなかったための交通事故

交通ルールを守ると、交通安全が実現できる。

交通安全 = ルールの遵守 + マナーの向上

どちらも不可欠！

【交通事故を防ぐために】

○交通ルールを守る

○約束を守る

○道路を通るときは周囲の安全確認

○交通事故防止5つの行動（心がけ）

「もしかして」…… キケン予測
 「とまる」…… 一時停止
 「みる」…… 安全確認（左右）
 「まつ」…… 安全確保
 「たしかめる」…… もう一度確認

○道路を歩くときの約束

- ・歩道を歩きましょう
- ・歩道のない道路では右側を歩きましょう
- ・道路に出るときは、一度止まって左右を確認
- ・道路をわたるときは、左右をたしかめて、クルマが来ないことを確認
- ・信号が「赤」や「青の点滅」ではわたらない
- ・青信号でも左右の確認
- ・道路標識をかならずまもる

○自転車に乗るときの約束

- ・学校やお家の人との約束をまもる
- ・ヘルメットをかぶりましょう
- ・交差点では止まって左右を確かめる
- ・周りに迷惑をかけたたり、危険な運転はやめましょう

かささし運転 横並びで走る並走
 ジグザグ運転 スピードを出しての運転
 運転以外のことをしながらのながら運転
 二人乗り

【災害安全】自分の命は自分で守る

○災害はいつおこるかかわからない

- ・自分の命をまもる方法を身につける。
- ・約束を守り、助けてくれる人の言うことをきく。

○「キケン・あぶない」と災害を知ることができる

- ・まわりの様子からキケンを予測する力
- ・キケンをさけて命をまもる行動ができる力

【自身の安全第一、自分の命は自分で守る】

○地震の場合

(避難行動)

- ・頭や首を守る
- ・屋内にいる場合慌てて飛び出さない
- ・物が「落ちてこない」「移動してこない」「倒れてこない」場所に避難
- ・慌てて「火」を消そうとしない。揺れがおさまってから消火
- ・公共の施設等に居る場合、係員の言うことを聞いて避難
- ・助けてくれる大人の言うことに従って避難
- ・通学する途中にある避難できる場所を確認する
- ・簡単な応急手当の習得

(事前対策)

○雷、突風が近づいてきた場合

(避難行動)

- ・頭、首を守る(腕や適当なもの)
- ・直前、直後等状況に応じた避難行動をとる。
- ・屋内に避難する
- ・落雷、飛来物に注意する
- ・屋内では、壁・窓から離れ、固定された家具等の陰で安全確保を図る
- ・電柱や樹木も倒壊の危険あり、近づかない
- ・外出の際、天気予報や気象に係る注意報の確認と情報収集
- ・簡単な応急手当の習得

(事前対策)

○ハザードマップの作成と活用

- ・地域の地形、建物形状や位置を理解する。
- ・地域にかくれている危険を知る。
- ・災害発生が予測される場所からの避難の確認をする
- ・万一のために、自宅近くの避難所を確認する。